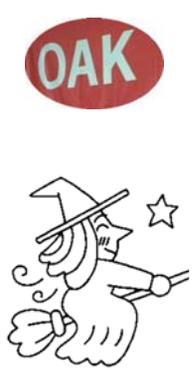


あすなろ

東京都港区三田3-2-20 TEL 03-3455-6006
http://oak47-02.web.infoseek.co.jp



「沖電気の職場を明るくする会」とは

沖電気とその関連の会社で働く人々が「安心して人間らしく働ける職場」を願って創られた「会」です。非正規の人など誰でも入会できます。仕事や会社や生活のこと、世の中のことを一緒に考えませんか。少しでも良くなるように、明るい明日になるようにと、会紙名は「あすなろ」一九八六年八月から発行。略称は「OAK」です

通信事業の分社化についての職場の声は・・・

- ★(開発職場) 分社化発表後に株価は下落し、分社化は単に子会社化されるだけじゃないの。転籍による社員の給与引き下げしか想像できない。最初は出向でもその後は転籍でしょう。社員の間には経営陣から切り捨てられたという空気が漂っているだけ。
- ★(開発職場) 内容がはっきりしない。見切り発車のように思える。もっと情報を明らかにして欲しい。多く人が懐疑的になっているように思う。
- ★(営業職場) 現場の人たちの声、悲鳴が何故届かないのでしょうか。どうして経営トップの思いや考えが、現場に響かないのか、自分たち管理職の人も含めて真剣に考えるべきことだと思う。
- ★(企画職場) 会社側があれこれ言っても、従業員が感じているのは、沖は十数年来、全く成長していない。土地は次々と売却、従業員はどんどん減るし、事業規模もだんだん縮小している。OKIの社長を尊敬してきたが、現実はこの悲惨な経営現状を見て悲しい、憤る気持ちいっぱい。

沖労組のミッション(使命)
「安心して仕事に集中できる環境を作る」
「仕事を通じた一人ひとりの幸せ創りを支援する」

いま、真価を発揮すべき時

組合の対応はどうだったのか

沖電気はこの十年「目先の利益」を追求するあまり、技術やものづくりをおろそかにしてきました。半導体、通信、プリンタの3注力事業としてきましたが、今年10月、半導体事業の売却、通信事業の分社化にまわっています。

沖電気労組はミッション(使命)を設定して、「企業の繁栄なくして、組合員の幸せはない」として、目先の企業利益最優先の施策に理解を

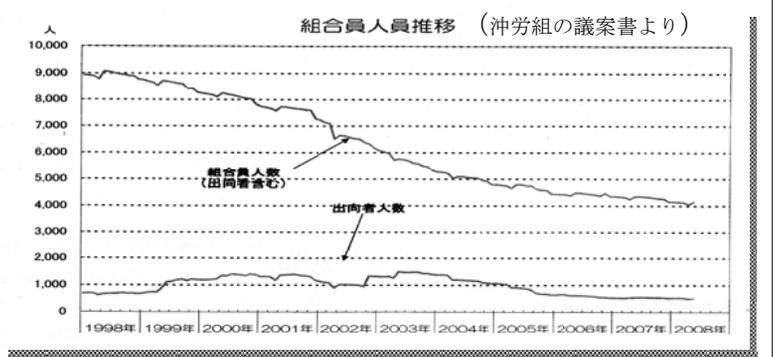
譲歩から対等の労使関係の構築へ

今、求められる労働組合の役割は、物分りよく会社施策

示し、協力してきました。その結果は増々先細りの経営となり先の見えない事態が進んでいます。

相次ぐ分社化、生産の海外移転、派遣労働者への置き換えで、組合員は激減しました。この10年間で約9,000名から約4,000名となり、労組は弱体化を招きました。

年々減少の組合員と先細りの企業業績



(OAK調べ)

年	00年	01年	02年	03年	04年	05年	06年	07年	08年
連結営業利益	138	283	-272	13	216	272	106	-54	62
単独営業利益	103	236	-344	-104	42	80	37	-166	-130

働く人々のための労働組合に

職場では半導体事業の売却、通信事業の分社化問題、賃金抑制のための成果主義賃金制度などの不安と不満が渦巻いています。増加したパート、派遣、関連企業従業員などからの労働条件の改善を求める声も大きくなっています。こうした声に労働組合がどう応えていくのか真価が問われています。

を理解し、協力することではなく、沖に働くすべての人の生活・雇用・権利を守り向上させることの主張を最優先にすべきです。そうした緊張感のある労使関係をつくることによって、社会的責任とコンプライアンス(法遵守)経営に責任を持った企業になるのではないのでしょうか。

《投稿》

沖電気労組・定期大会 傍聴拒否に異議あり

MSC本庄・平井盛博

今年の定期大会は、重要な分社化問題もあり、2日間の大会でどんな議論がされるのか無関心でおられず、傍聴申請、公休の手続きをすませて、7月29日に東京・港区の会場(電機連合会館)に行きました。

しかし、参加代議員の傍聴反対により、期待した傍聴は出来ませんでした。裁判所でも国会でも町の議会でも公開が原則です。

なぜ、民主主義運営が原則の労働組合が大会を非公開にするのでしょうか？定数205人の代議員(22人が欠席)で傍聴賛成は2人と報告されました。



十九世紀末にフランスのクイベルタン男爵によって発案された近代オリンピックは、「スポーツを通じた肉体的精神的発達」「諸民族の相互理解と友好の促進」「スポーツを通じた世界平和への寄与」などの目的や理念を掲げ、政治的立場や戦争にほころうされながらこの大志をもとに着実に発展してきた。千八百九十六年、十四の参加国で始まったオリンピックは今年で二百五の参加国となり北京で開催される。

▼とところで石原慎太郎都知事はオリンピック招致をテコに、首都高速道路中央環状線、外郭環状線道路、首都圏中央連絡道路などの整備と「都市再開発」を一気にすすめるようとしている。オリンピックは、このような巨大開発の口実とされたり、環境破壊につながるような計画とセットにされ生活を圧迫したり、自然環境の破壊に手を貸すような計画であってはならない。五輪の大志をゆがめてはならないと思う。

▼老若男女を問わず、年齢と体力に応じた運動でいい汗をかき、三度の食事と同じぐらい必要不可欠の事だといふ。人類は(少なくとも私は)食欲はあるが運動欲はない。健康を保つ秘訣はそのない運動欲をいかに努力で補うかであるような気がする。オリンピックを契機に・・・

